



2/9 異文化を楽しむグローバルパーティー



市内や近郊在住のさまざまな国の外国人らと市民が交流する「第30回新居浜グローバルパーティー」がウイメンズプラザで開催されました。この催しは、市民と外国人が集い、それぞれの国の踊りや音楽にふれて相互理解を深め、交流を楽しむことを目的に開催されているもので、今回で30回という節目の年を迎えました。世界のお菓子を囲んだティーパーティー形式のブースには、アジアやヨーロッパなど14カ国の101人を含む約300人が歓談。また各国の紹介ブースでは、異文化体験を楽しみながら交流を深めていました。

2/11 未来のわたしたちへ



50年にわたりえんとつ山登山口で登山者を見守ってきたトーテムポールが新調されました。角野中学校の生徒をはじめ、角野地区の住民が一丸となり、約9カ月かけて製作。高さは7.5mで、側面には「またおいでんよ」とのメッセージや色とりどりの絵が描かれています。記念式典では、真新しい水色のトーテムポールをお披露目。古いトーテムポールもそのまま残し、2本並ぶように設置しました。角野中学校の生徒たちは「木の表面の削り出しが大変だった。割れないように気を付けた」と製作時の苦労を明かしました。

2/20 災害時に役立ててほしい



新居浜工業高校の生徒が製作した防災ベンチ8台が、市に寄贈されました。ベンチはバーベキューコンロ付きで、災害発生時に調理器具として活用できる仕組みです。同校機械科の生徒が、授業の一環として1年がかりで製作。災害時は背もたれを倒し、座面を取り外せばコンロとして使うことができます。惣開公民館で開かれた贈呈式では3年生4人がベンチの機能を説明し、神野響さんは「南海トラフ地震など、災害時に役立ててほしい。普段はベンチとして、くつろいでもらえれば」と力を込めました。

3/5 画集「生かされて」 奨励賞受賞



卒寿記念として発行した画集「生かされて」で第35回愛媛出版文化賞奨励賞に輝いた田坂優さんが報告のため、市役所を訪れました。田坂さんは美容師として働く傍ら、市内の絵画グループ「新世紀会」に所属し、洋画の製作に励んできました。画集には、京都に通って描いた「舞妓」シリーズなど70作品を収録しています。田坂さんは「小さいころから『生かされて』きた。いつも周りの人に恵まれている」と思いを巡らせ、受賞については「大変驚いた。私だけの力じゃなく、皆さんに感謝しています」と笑顔を浮かべました。